

職業準備支援の活用例のご案内①

【発達障害と診断されているAさん(30代)の思い】

- ・通所半年経ち、就活を開始する前にコミュニケーションの練習をしたい!

①短期プログラム(コミュニケーションコース)の利用

●こんなことを実施しました

- ・JST(職場での声のかけ方)やアサーションの体験
- ・学んだコミュニケーションを協同作業体験で実践



●振り返りをする中で気づきを得たAさん

- ・コミュニケーションは、聞く・話す姿勢も大事だと気がついた
- ・作業上ミスをしやすいこと、作業後の確認の工夫が大事であることに気づききっかけとなった

②追加で、短期プログラム(作業体験コース)利用へ

●利用の結果

- ・事務作業を数種類体験し、力を発揮しやすい作業の整理
- ・作業後に指差し確認を徹底したところ、正確性UP!



・職場では、話を聞く姿勢が大事だと気づきました!
・作業の正確性に不安があったけれど、指差し確認で作業の精度が上がったので、自信が付き、念願の事務職での内定が決まりました!(Aさんより)

・いつもとは異なる場面で実践できたので、安心して実習に進めました(Aさんの支援員の方より)

職業準備支援の活用例のご案内②

【自閉症+知的障害と診断されているBさん(20代)の思い】

- ・就職に向けて自分に合った仕事を見つけない!
- ・職歴がないので、自信がない・・・
- ・コミュニケーションにも不安がある

就労移行に週1日 + 職業準備支援に週4日 平行して利用

●こんなことを実施しました

- ・軽作業/事務/ピッキングなどの作業体験
- ・JSTなどのコミュニケーションプログラムへの参加



●利用の結果



・初めての場面でも質問・報告ができたことなど、できたことの振り返りが自信になりました (Bさんより)

・力を発揮しやすい環境(軽作業・ピッキング)や、希望の労働条件、配慮を得たいことの整理ができました (Bさんの支援員の方より)

利用後に・・・

- ・ハローワーク相談(職場見学や職場実習)を経て就職
- ・就職後には、ジョブコーチ支援を活用

📞【お問合せ先はこちら】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
神奈川障害者職業センター 支援室

住所: 相模原市南区相模大野3-13-7 YSビル5階
TEL: 042-745-8845
Mail: kanagawa-ctr@jeed.go.jp

